

❖□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖
メールニュース11月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❖□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖□■□■□■□❖

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

—● シロイヌナズナFOXラインのスクリーニング用プールを追加公開しました ●—
理化学研究所 環境資源科学研究センター (RIKEN CSRS) よりシロイヌナズナFOXライン (シロイヌナズナ遺伝子強制発現系統) の追加寄託を受け、スクリーニング用プールセットの数が2個増えて16個になりました。ぜひご利用ください。 <http://epd.brc.riken.jp/archives/2300>

—● 研究集会にて展示を行います ●—
第36回日本分子生物学会年会 (MBSJ 2013、12月3日~6日、神戸) における特別企画「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)」にて、展示ブースを出展します。-
展示期間：3日~5日 <http://www.aepan.co.jp/mbsj2013>
会議に参加される方は、ぜひお立ち寄りください。

—● テクニカルサポート (No. 7) : 植物培養細胞でよく受ける質問について ●—
植物培養細胞のプロトコルシリーズ第3回は、これまでにユーザーの皆様から受けた代表的な質問について紹介します。

Q 1. シロイヌナズナT87細胞をMS培地で維持することは可能ですか？

A 1. 可能ですが性質が変わる恐れがあります。

開発者が報告した細胞株の性質を可能な限り守るため、バイオリソースセンターでは開発者らの論文で報告された培地を 使用して維持を続けています。

Q 2. 培養細胞をクール宅急便で送ってもらえますか？

A 2. 大部分の植物培養細胞は低温に弱く、最悪の場合褐変して死滅します。

万が一冷凍庫に入れた場合には、細胞が完全に破壊されて再生不可能になります。このため、バイオリソースセンターでは常温で細胞株を発送しています。なお、同理由で到着した細胞株を冷蔵庫等で一時保存することも避けてください。

Q 3. 植物培養細胞を液体窒素下で保存できないのでしょうか？

A 3. 植物細胞は動物細胞と比較して含水量が多く、凍結耐性が低いとされています。

冬芽や培養茎頂などを液体窒素条件下で保存する技術が開発されていますが、含量が特に多い培養細胞の超低温保存は難しく、プログラムフリーザーなどの特殊な機器が必要

とされてきました。バイオリソースセンターでは2005年にタバコBY-2細胞を液体窒素条件で保存する簡便な方法を開発し、技術研修を開催するとともにプロトコルを公開して普及を図っています。ご関心のある方は以下のリンクでご確認ください。

http://epd.brc.riken.jp/manual/cryopreservation_0714

リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に下記メールアドレスにお送りください。皆様のアクセスをお待ちしております。

❀*:・'° ❀° '・*:.. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://www.brc.riken.jp/lab/epd/>

❀*:・'° ❀° '・*:.. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀